

JR東日本における 地域連携・活性化の取り組み ～JR横浜支社の挑戦～

(株)ジェイアール東日本物流 代表取締役社長
(前 東日本旅客鉄道(株)横浜支社長)
松崎 哲士郎

はじめに

JR東日本の概要・取組み

JR東日本会社概要

線区数	70線区
営業キロ	7,512.6km
駅数	1,689駅
列車本数	12,757本(一日あたりの列車本数)
車両数	13,157両(※)
輸送人員	約1,650万人(2011年度一日平均輸送人員数) (列車本数は2012年3月17日ダイヤ改正時データによる) ※E995形試験電車1両、209系試験電車6両を除く
社員数	59,370人(2013年4月1日現在)

JR東日本会社概要



主な事業

□鉄道事業・・・新幹線ネットワーク、首都圏輸送（東京メグループ）、東北縦貫線など



□生活サービス事業・・・ステーションルネッサンス、ショッピング事業
ホテル業、広告業など



□IT・Suica事業・・・Suica全国相互利用開始など



□鉄道車両製造事業・・・J-TREC

バンコク(タイ)パープルラインへの事業参画、ジャカルタへ埼京線205系譲渡など



JR東日本HPより抜粋

5方面に伸びる新幹線



今後の新幹線開業(予定)

□北陸新幹線金沢延伸 (2014年度末)

- 列車愛称名
- ・かがやき
- ・はくたか
- ・つるぎ
- ・あさま



E7系車両イメージ

□北海道新幹線函館開業 (2015年度末(予定))

JR東日本
グループ

JR東日本
生活サービス部門

開発業務(まちづくり)

地域活性化の推進

既存事業の活性化

地域密着で
展開

JR東日本グループ
一体となって
「駅立地」で
積極的に事業展開

- これまでの枠にとらわれない新たな事業スキームの構築
- 各事業のコーディネート
- グループの戦略策定

人事交流

開発スペース

資金(出資)

戦略

グループ会社

■各事業において、競争に打ち勝つための戦略策定・実行を行う

小売事業会社



1,876店舗

飲食事業会社



642店舗

SC事業会社



148箇所

オフィス事業会社



25棟

広告事業会社



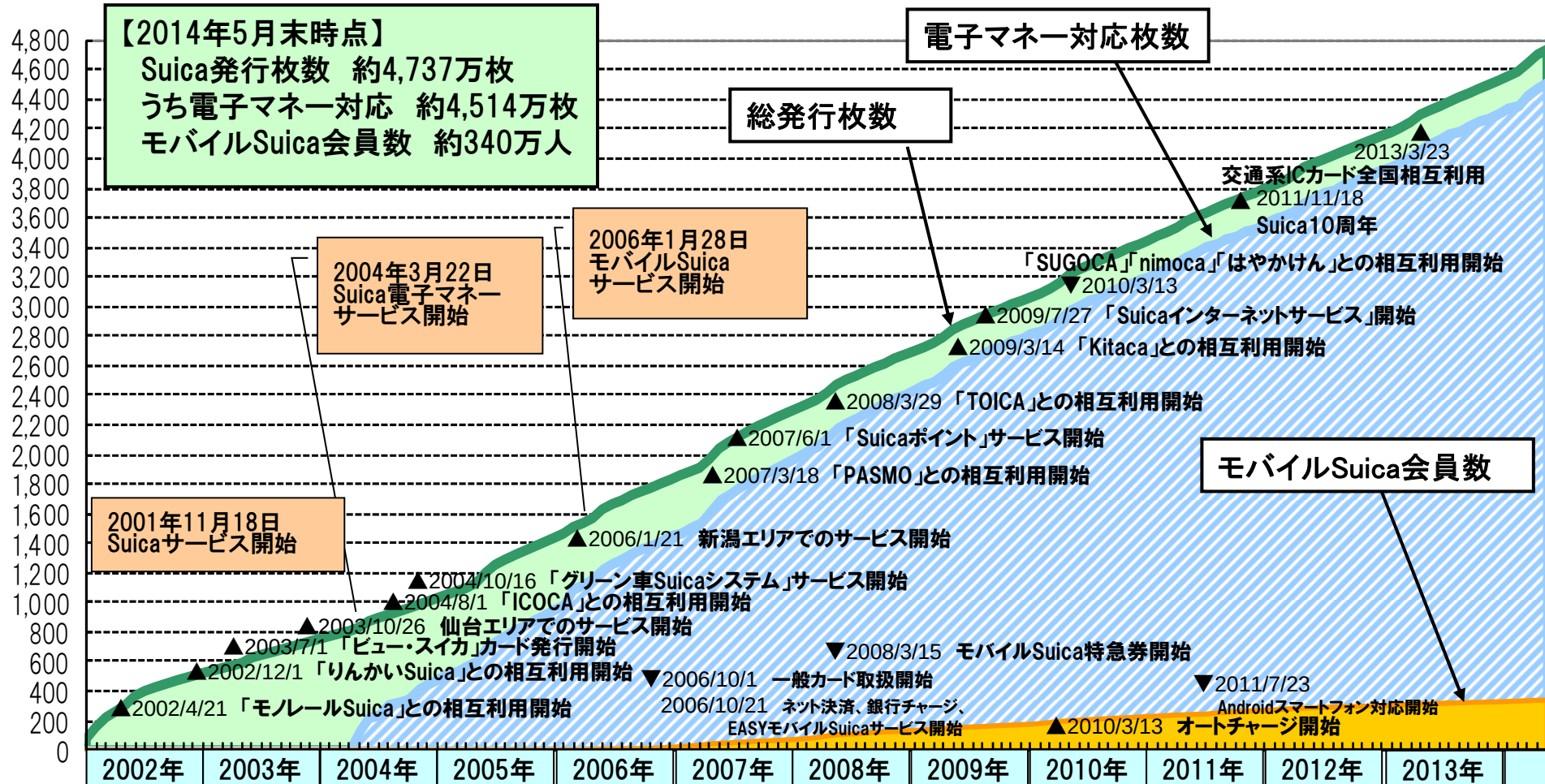
ホテル事業会社



44箇所

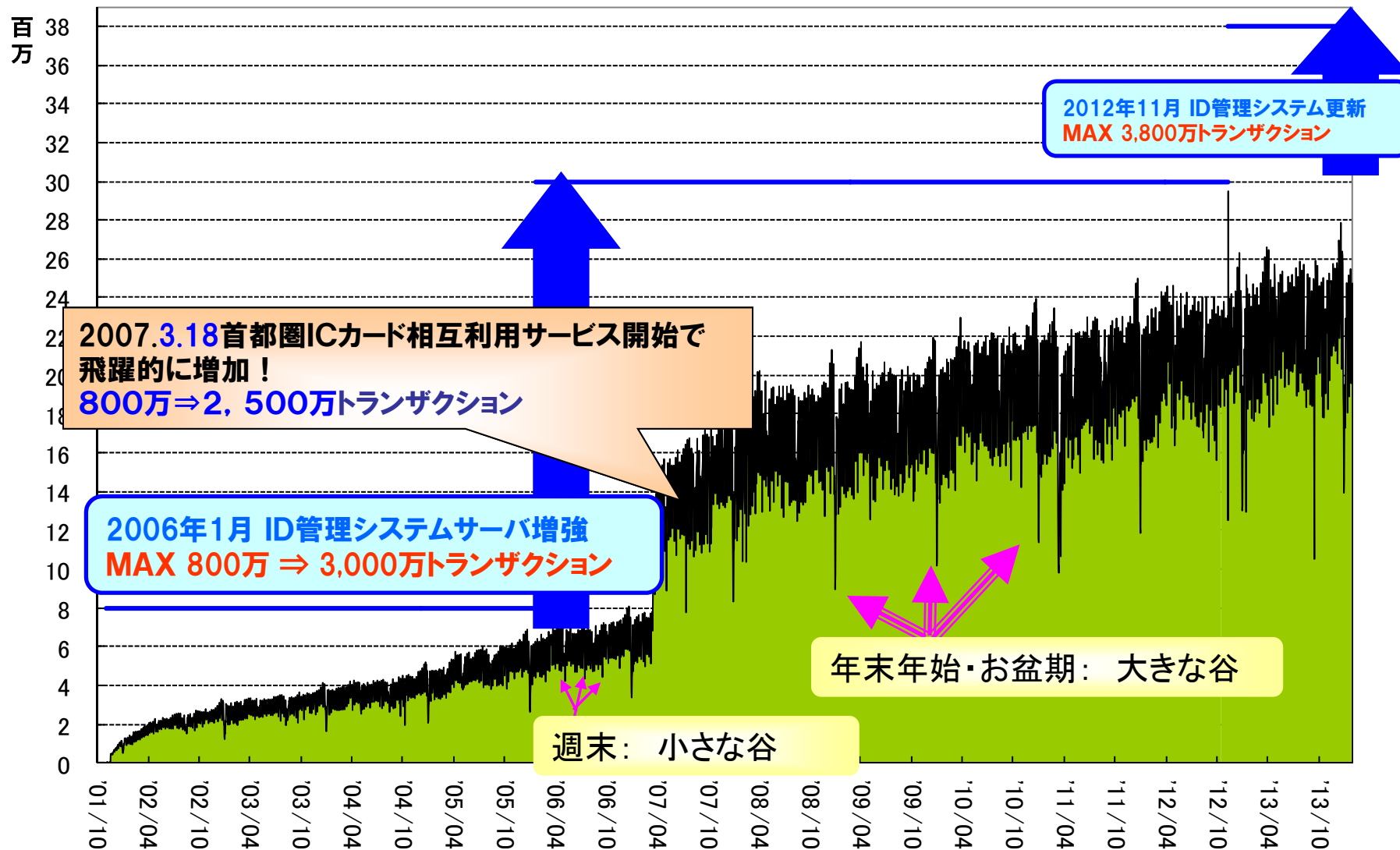
●Suicaの発行枚数

(万枚)



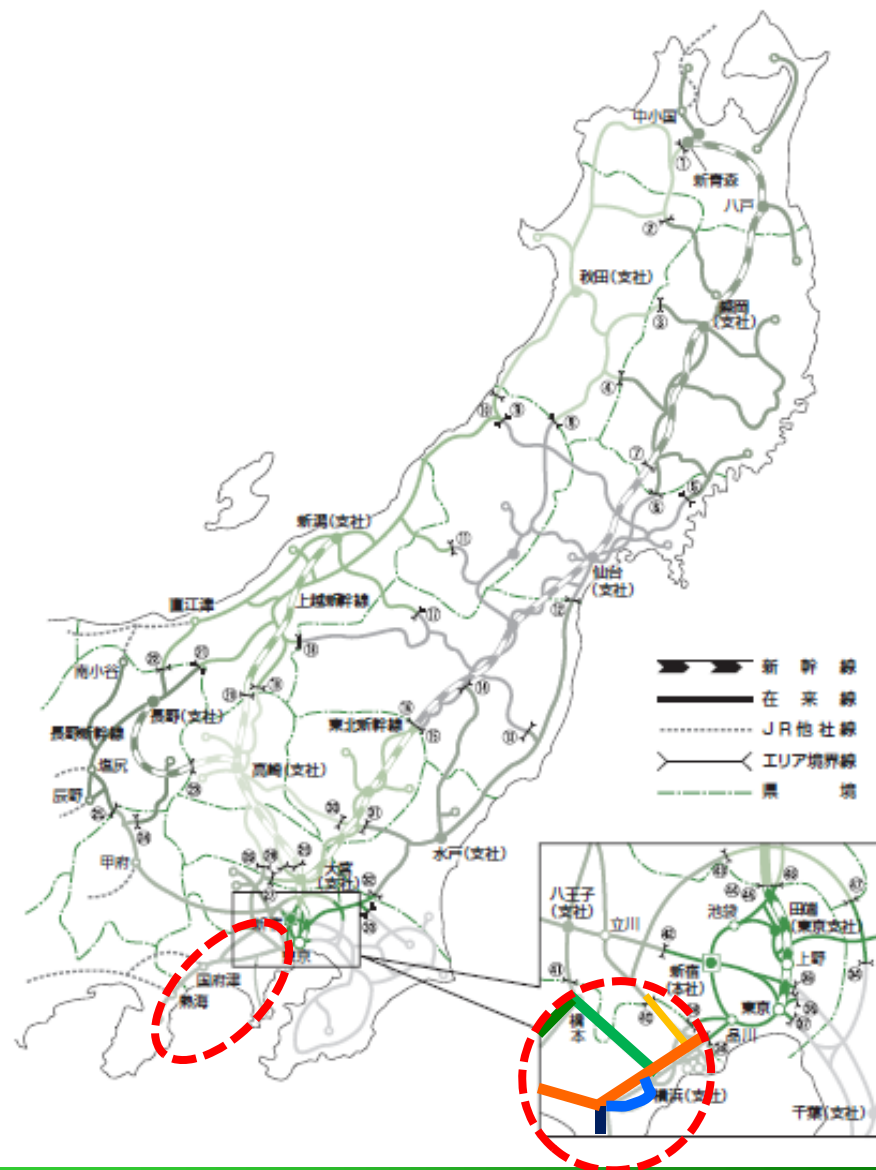
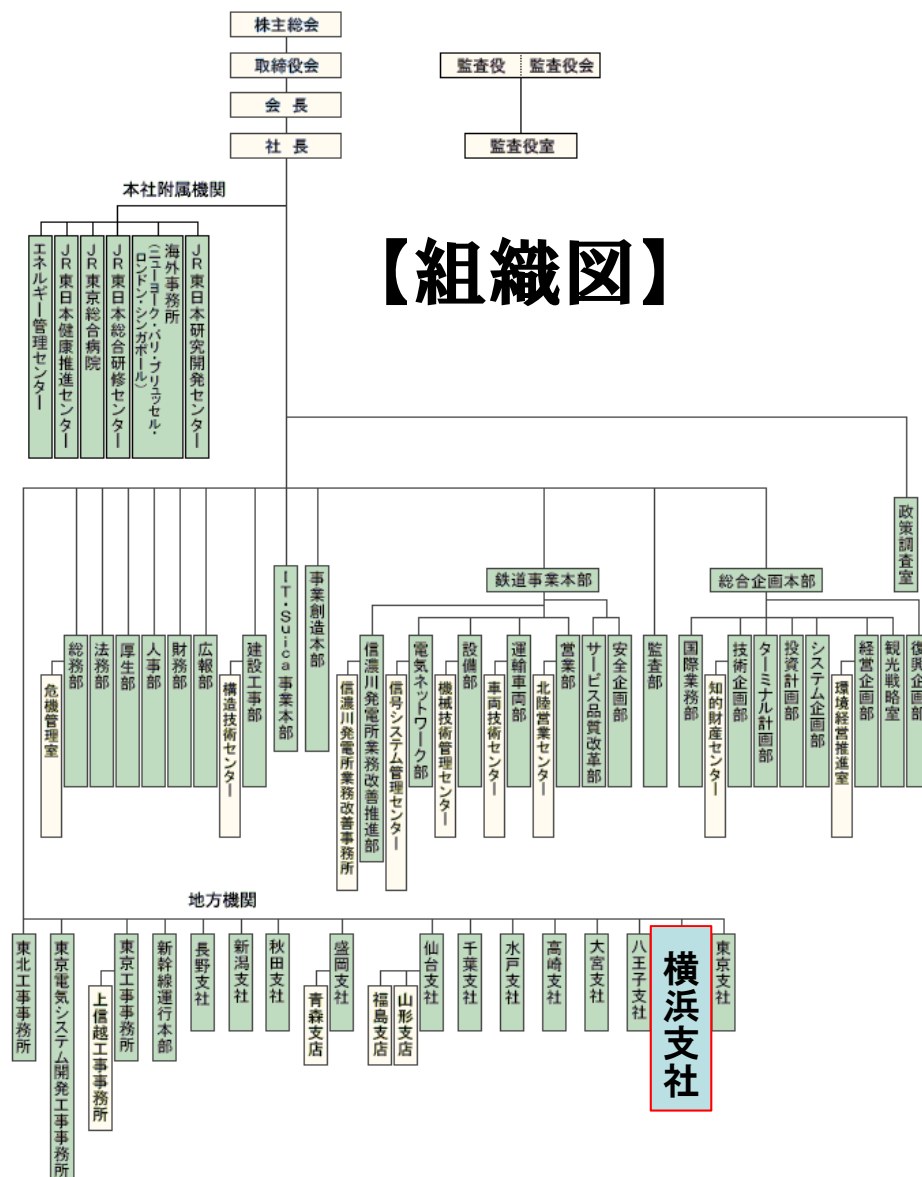
●導入効果のトレース（トランザクション）

2014/1/31 現在



横浜支社の概要

JR東日本 組織図と事業エリア



横浜支社管内図

線 区 数 : 9線区

営業キロ数: 327.9Km



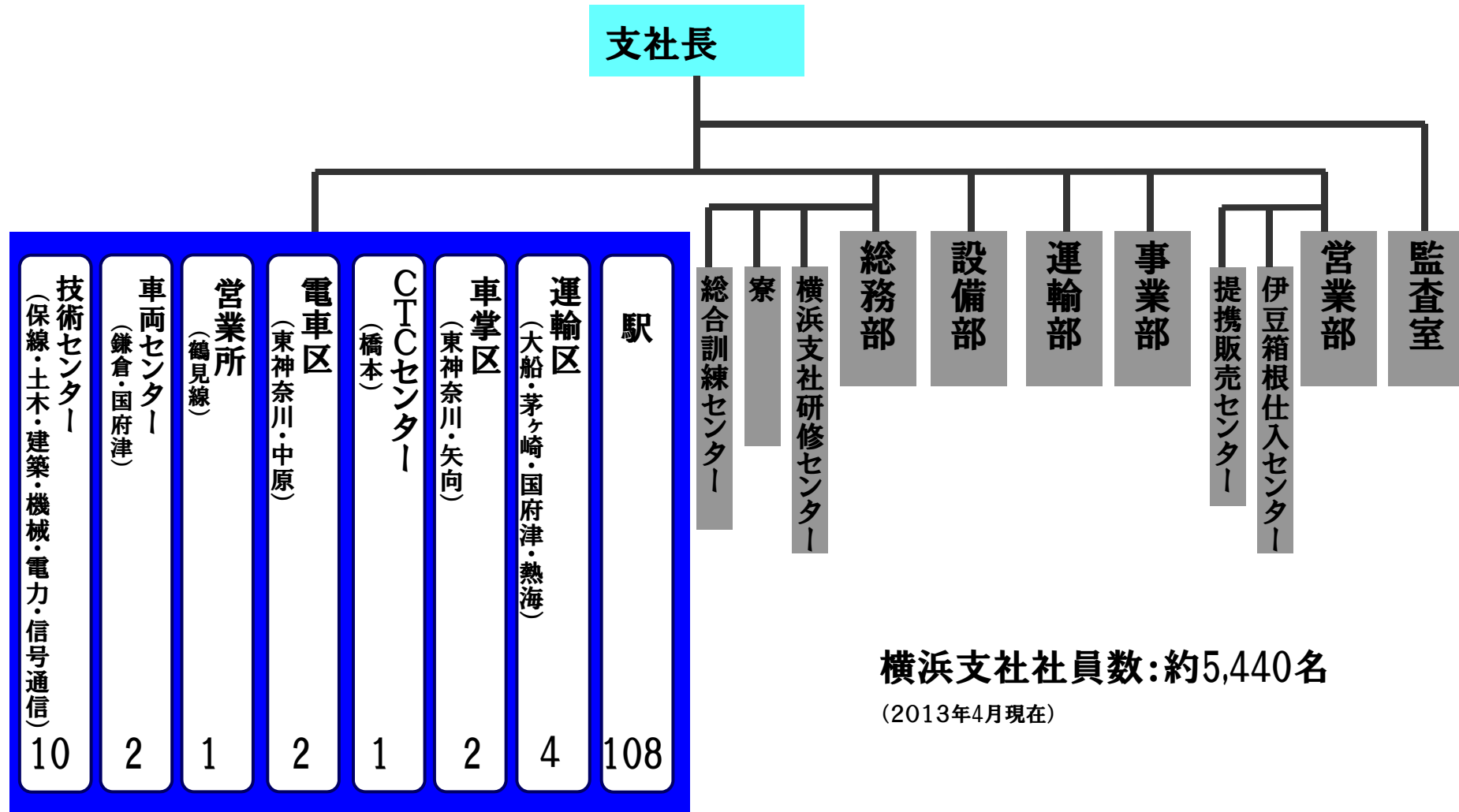
横浜支社概要

線区数 **9線区**
営業キロ **327.9km**
駅数 **108駅**
その他機関 **22機関** (運輸区、CTCセンター、車両センター、各技術センター等)

横浜支社内 駅別平均乗車人員 ※2012年度

順位	駅名	乗車人員
1	横浜	400,655
2	川崎	188,193
3	町田	110,543
4	武蔵小杉	108,046
5	戸塚	107,681

順位	駅名	乗車人員
6	藤沢	104,300
7	大船	95,317
8	武蔵溝ノ口	79,533
9	登戸	78,075
10	鶴見	76,583



安全への取組み

①首都直下地震に備えた耐震補強の推進(土木設備)

土構造物(盛土・切取)の補強

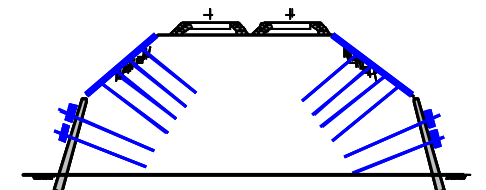
○2012年度から約5年間で重点的な整備期間として推進中
高架橋柱の補強 橋脚の補強



鋼板巻立て補強



鉄筋コンクリート巻立て補強

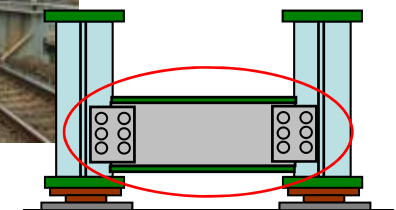


盛土の被害事例と対策例

斜角桁の横移動対策



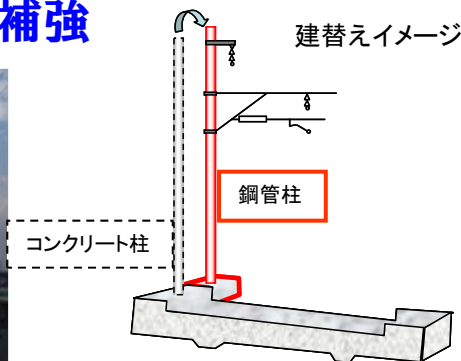
斜角桁と
横移動対策例



桁連結工

②首都直下地震に備えた耐震補強の推進(地上設備等)

電化柱の耐震補強



電化柱被災事例と対策例

駅コンコース等の天井耐震補強



天井落下の被災事例と対策例

脱線防止ガードの設置(橋りょう)



駅外壁の耐震補強



通信機能の強化



津波対策の取組み

横浜支社では東日本大震災を教訓に、2012年2月に「津波対応マニュアル」を制定しました。

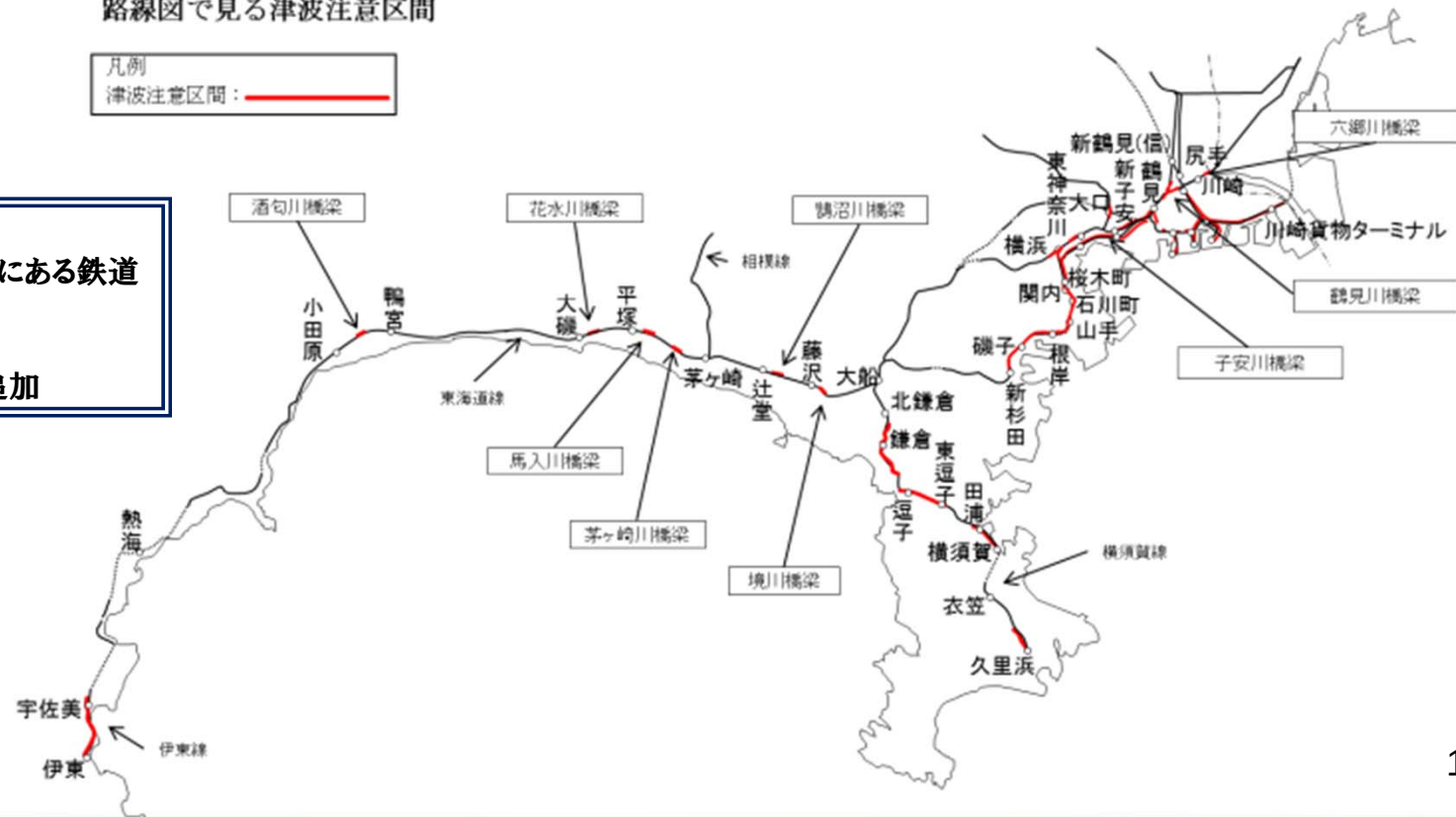
その後、神奈川県から津波浸水予測図(成案)が発表され、沿線の多くの関係自治体が津波避難場所を指定したことを受け、12月に「津波対応マニュアル」を改訂しました。

路線図で見る津波注意区間

凡例
津波注意区間: ———

○改訂箇所

- (1) 津波による浸水域にある鉄道設備などを指定
- (2) 津波避難場所を追加



東日本大震災における教訓や東海地震への対応も踏まえて

総合防災訓練

○8月30日からの防災週間を中心に、首都直下地震等を想定した訓練を、自治体等と連携し実施

津波を想定した訓練

○東日本大震災の教訓を受け、毎年3月に津波を想定した実践的な避難誘導訓練を自治体等と連携して実施

帰宅困難者対策

○安全が確保でき、運転再開に支障なく一時的にお待ちいただける駅構内のスペースを確保できる範囲で開放し、情報提供・駅構内のトイレのご利用にも対応

防災配備等

○災害現場での通信手段を確保するため、衛星携帯電話、WiMAXパソコン及び災害用緊急自動車を配備

総合防災訓練

(2013年9月7日:茅ヶ崎駅)



列車内・駅構内からの避難誘導訓練

津波を想定した訓練

(2013年3月9日:鎌倉・伊東駅)



津波を想定した降車誘導訓練

災害用緊急自動車

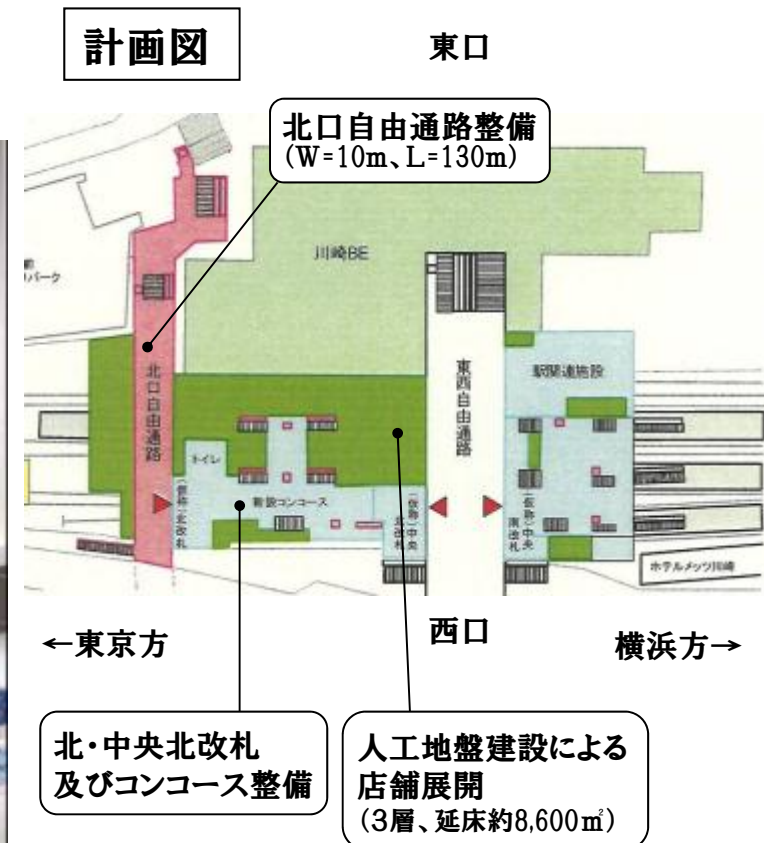


衛星電話、レスキューセット等を搭載

横浜支社の地域との関わり

川崎駅整備計画(東海道線 他)

- 川崎市と当社で、川崎駅北口自由通路、北改札及び中央北改札を整備
(駅アクセス向上及び東西回遊性の向上)
→当社では駅舎改修及び駅店舗開発等を計画



※計画図であり、今後変更の可能性があります。

(仮称)横浜駅西口駅ビル計画 (東海道線 他)

- 当社にて「横浜シアル」と「横浜エクセルホテル東急」の跡地開発を計画
→既存建物解体終了(暫定活用中)



駅ビル完成予定図

※計画図であり、今後変更の可能性があります。



ルミネ横浜 西口ルミネ3月1日オープン

茅ヶ崎駅改良・駅ビル増築工事 (東海道線 他)

○2015年度開業(予定)



※計画図であり、今後変更の可能性があります。

菊名駅改良・バリアフリー整備（横浜線）

- 横浜市・東急・JRの共同事業として、駅改良によりバリアフリー化
- JR駅舎橋上化、東急駅舎改良、乗換改札廃止、改札内コンコース拡充等



※計画図であり、今後変更の可能性があります。

桜木町駅高架下開発・駅改良 (根岸線)

○2014年7月 1日 北改札 開業

○2014年7月16日 CIAL桜木町
グランドオープン(予定)



みなとみらい側イメージパース



野毛側イメージパース

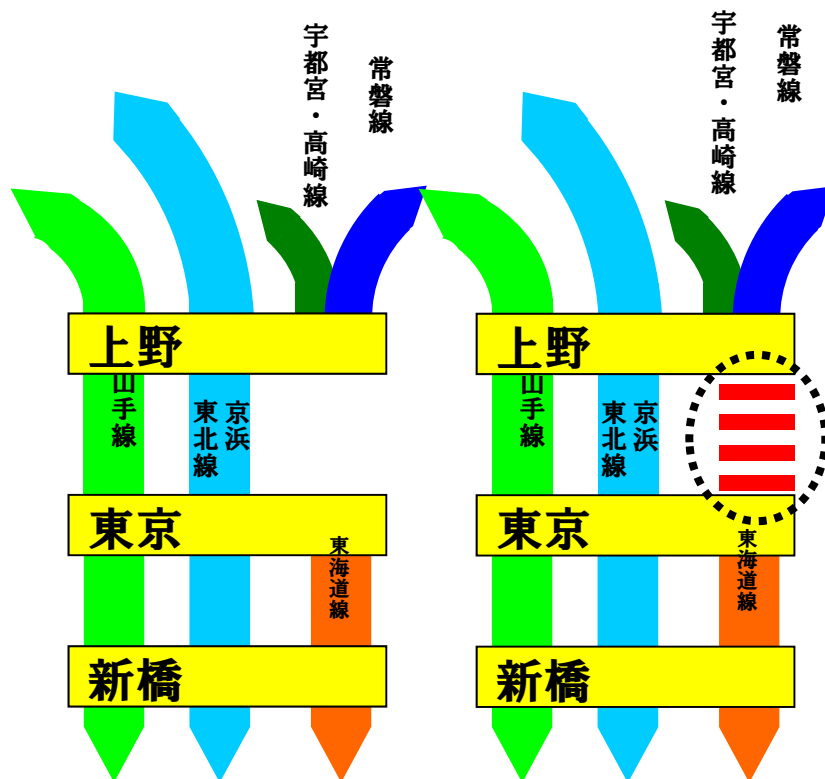
※計画図であり、今後変更の可能性があります。

関内駅北口・バリアフリー整備 (根岸線)



※図はイメージです。今後の設計深度化により変更が生じる可能性があります。

■ 東北縦貫線(上野東京ライン)



○2014年度末開業予定

■ 相鉄・JR直通線

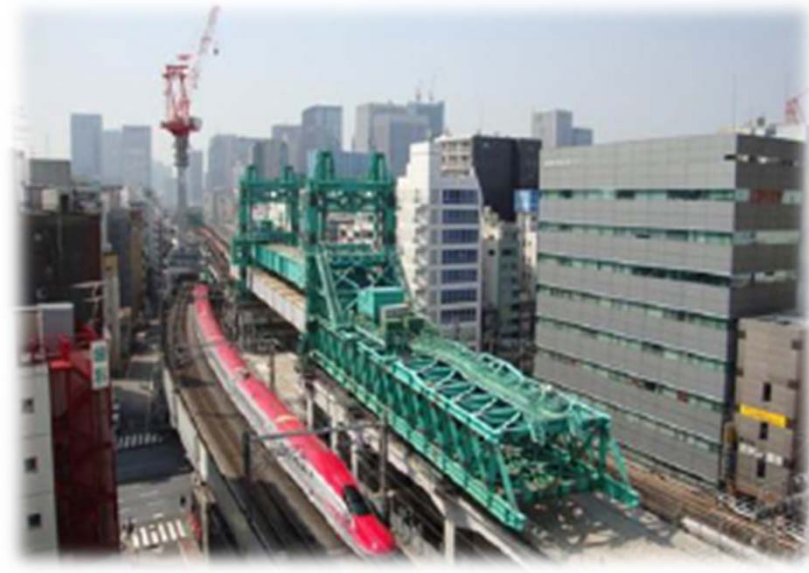


○相模鉄道本線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅
付近までの区域に連絡線を整備

東北縦貫線の整備により、宇都宮・高崎・常磐線の各方面から東海道線東京・新橋・品川方面への直通運転が可能となり、並行する山手線や京浜東北線の混雑が大幅に緩和されるほか、乗り換えの解消や所要時間の短縮が可能となります。



東北縦貫線イメージ



東北縦貫線の工事状況(2013年4月現在)



コンセプト「子育てしやすい沿線の実現」

JR東日本全体 2014年4月1日現在 **計79ヶ所まで拡大**

自治体と連携した
保育園の設置計画

横浜支社管内
現在13ヶ所

※(〇〇駅)は最寄り駅

ポピンズナーサリー
スクール小机
2000年4月開業(小机駅)



ひびき保育園
2009年4月開業(大口駅)



茶々いまい保育園
2009年4月開業(武蔵小杉駅)



にじいろ保育園登戸
2010年7月開業(登戸駅)



サン・キッズ平塚ステーション
2010年4月開業(平塚駅)



Jキッズプラネット鶴見保育園
2011年4月移転開業(鶴見駅)



おやこの駅ひろば
(地域子育て支援ひろば)
2011年1月開業(大船駅)



茶々なかまち保育園
2012年4月開業(武蔵小杉駅)



橋本りんご保育園分園「とっば」
2009年4月開業
2013年4月本園化(橋本駅)



P'sスマイル保育園
2013年4月開業(鶴見駅)



ベネッセチャイルドケアセンター
本郷台
2013年4月開業(本郷台駅)



キティ石川町・横浜
2013年4月開業(石川町駅)



にじいろ保育園
2014年4月開業(武蔵新城駅)



2014年4月1日には、
武蔵新城駅付近高架下に
『にじいろ保育園(武蔵新城)』
が開園しました。

- 女性社員数 約**560**名 (有期雇用者含む) 全体の1割超
- 女性管理者数 約**40**名 (有資格者含む)
- 女性社員採用比率 約**3**割

【様々な場面で活躍する女性社員たち】

女性駅長



2012年6月
第22代石川町駅長



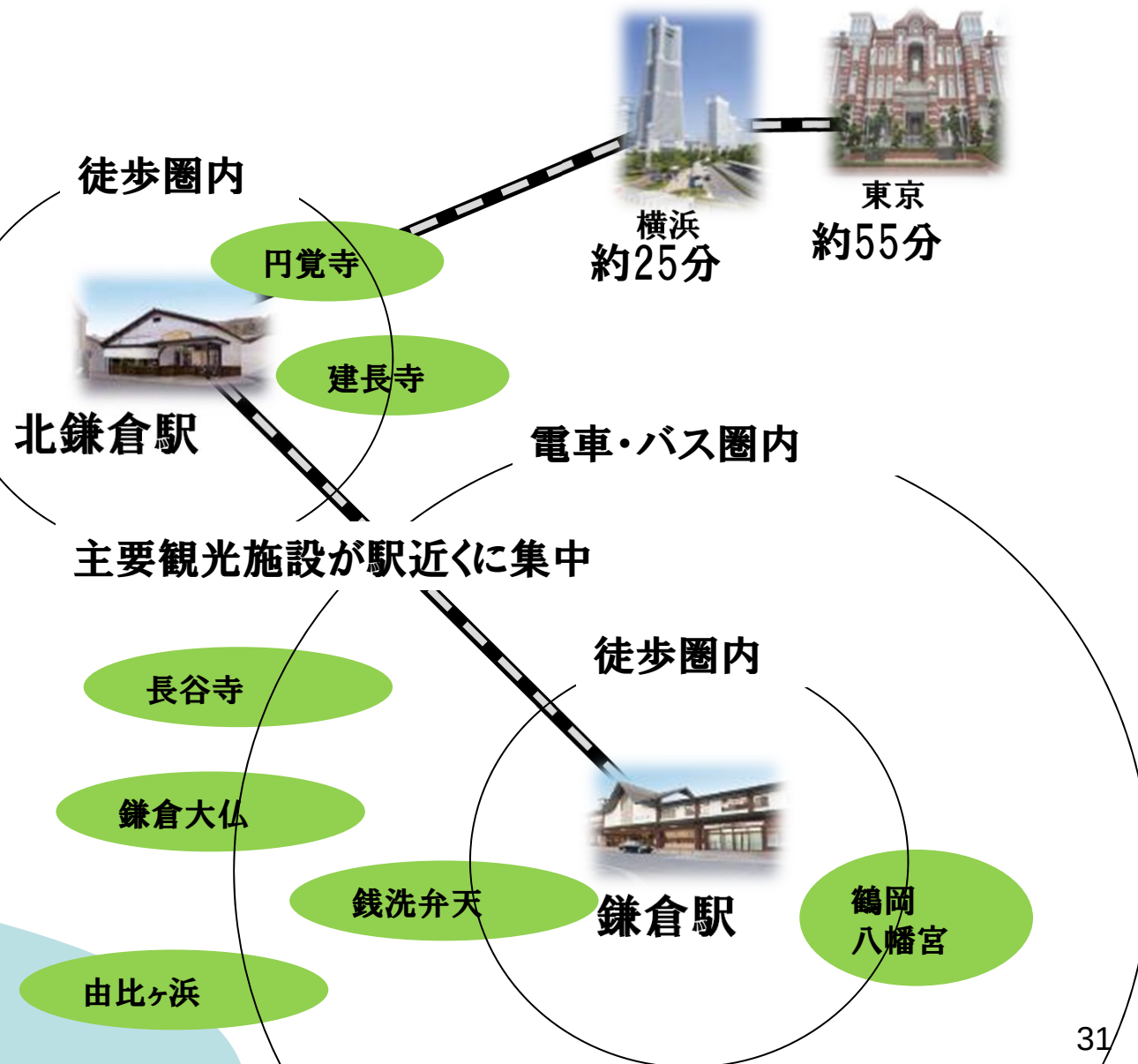
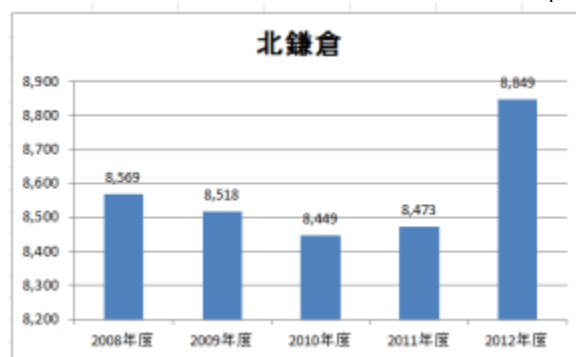
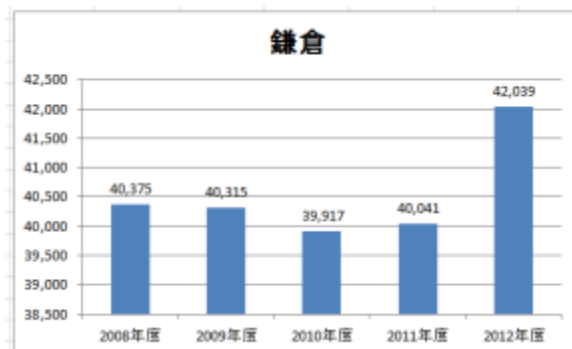
2013年7月
第35代武蔵小杉駅長

駅の出札・改札・びゅうで働く社員
約350名

乗務員 ※主に、東海道線・横須賀線に乗務
運転士 約40名
車掌 約100名

メンテナンス職場で働く社員
約30名

乗車人員の推移



鎌倉駅駅舎改良

世界遺産登録に向けて「武家の古都・鎌倉」をキーワードに駅舎改良を実施しました。現駅舎が市民運動やアンケートによってデザインが決定され、地域の方々からも親しみのある駅舎であるため、外観は変更せず装飾を木目調のデザインにし、落ち着いた雰囲気のある駅舎へ改修しました。



鎌倉駅3代目駅舎(現駅舎)※改良前



改良後の鎌倉駅



鎌倉駅東口改札前※改良前



改良後の鎌倉駅東口改札前

北鎌倉駅駅舎改良

鎌倉駅とあわせて、世界遺産登録に向けて「武家の古都・鎌倉」をキーワードに駅舎改良を実施しました。映画の舞台にも数多くなった地域のみならず、広く親しまれている駅舎のため、鎌倉駅同様に外観は変更せず装飾を木目調のデザインにし、落ち着いた雰囲気のある駅舎へ改修しました。また、多くのお客さまをよりおもてなしができるよう、エレベーターやスロープなどバリアフリー設備の整備をあわせて実施しました。



北鎌倉駅下りホーム(改良前)
ホームから出口への通路が階段のみで、中央に屋根を支える柱があり通路が狭く、車いす等ご利用のお客さまが上下車されるのに非常に困難な状態でした。



改良後の北鎌倉駅下りホーム
階段を撤去し、全体的なスロープを設置。中央にあった柱も撤去され、車いす等ご利用のお客さまをはじめ、お身体の不自由なお客さまが安心して上下車できるようになりました。

鎌倉でのSuicaの取組み

長谷寺・円覚寺ではSuicaが導入され、多くの方にご利用いただいております。



長谷寺



円覚寺



Suicaポスター(撮影:長谷寺)

鎌倉Suicaラリーの開催

JR、寺院、お店でSuicaを利用し、鎌倉駅設置の専用端末にタッチすると抽選に参加できるイベントを実施しました。



鎌倉駅での月替わり駅スタンプの取組み

鎌倉駅では月替わりで「古都・鎌倉」を代表する神社・仏閣などをモチーフにした駅スタンプを設置しました。(2013年7月から)



7月 鎌倉駅舎



8月 和賀江嶋



9月 円覚寺



10月 鎌倉文学館



11月 鎌倉大仏



12月 江の島



1月 鶴岡八幡宮



2月 荏柄天神社



3月 建長寺



4月 若宮大路



5月 報国寺



6月 長谷寺

各種商品の設定



東日本エリアの各地から鎌倉へお客さまをお送りするびゅう旅行
商品が発売しています。

また、現地ではお得なキップもご用意しております。

普段、お客さまが利用しない 貨物線を使った旅の提案

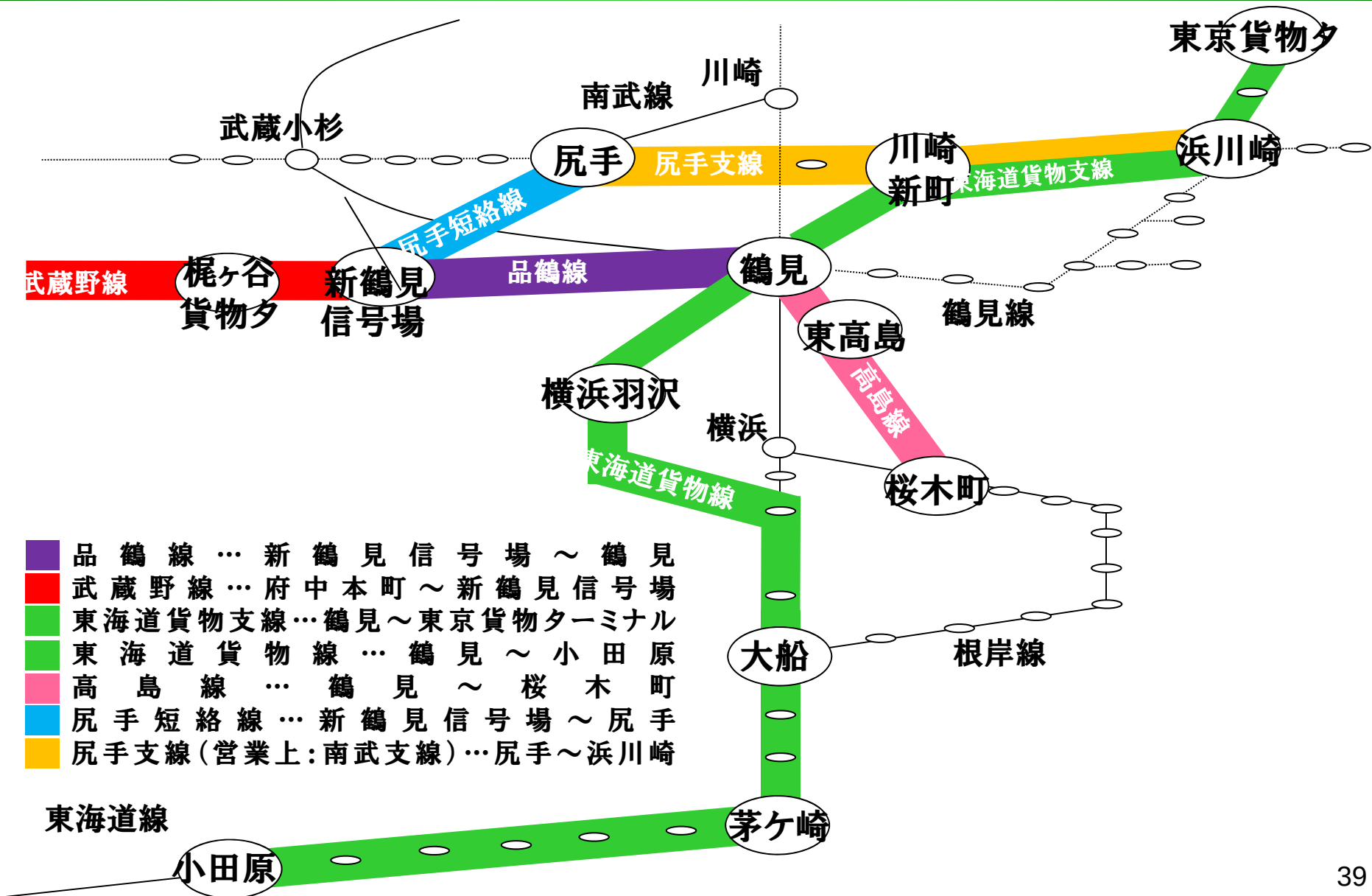


貨物線利用の列車の旅〈実績一覧〉

No	年度	運転日	団体名	車種	区間		実績 (人)
1	2012	6月2日	Y153記念列車で行く横浜	EC6 (183系)	新宿	石川町	183
2	2012	6月2日	Y153記念列車で行くヨコハマクルーズ	EC6 (183系)	石川町	石川町	204
3	2012	6月3日	Y153記念列車で行く横浜	EC6 (183系)	新宿	石川町	166
4	2012	6月3日	Y153記念列車で行くヨコハマクルーズ	EC6 (183系)	石川町	石川町	214
5	2012	9月8日	お座敷列車「ゆう」で行く貨物線の旅	EC(座)6 485系ゆう	横浜	横浜	120
6	2012	11月10日	お座敷列車「宴」で行く貨物線の旅	EC(座)6 485系宴	横浜	横浜	106
7	2012	12月1日	「いろどり」で行く貨物線の旅	EC6(485系) いろどり	横浜	横浜	124
8	2013	5月25日	Y154記念列車の旅	EC6(485系) いろどり	石川町	石川町	130
9	2013	5月26日	Y154記念列車の旅	EC6(485系) いろどり	石川町	石川町	126
10	2013	8月1日	お座敷列車に飲ってみナイト!	EC(座)6 (485系)華	横浜	横浜	127
11	2013	9月21日	やまどり貨物線号の旅	EC6(485系) やまどり	横浜	横浜	92

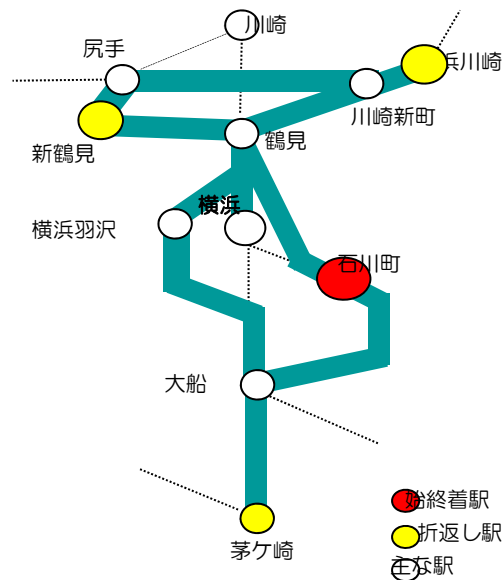
当社びゅう商品設定のみで過去2年で11本、合計1,500人以上
のお客さまにお楽しみいただきました。





= 地元とのタイアップ施策 = ～Y154記念列車の旅～

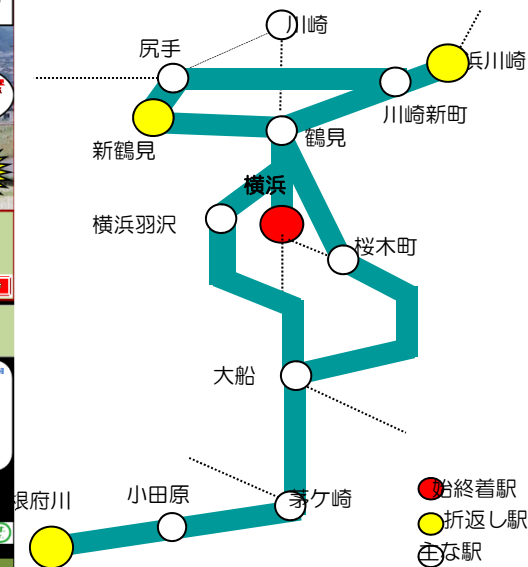
地元のイベントと連携し、横浜セントラルタウンフェスティバル“Y154”では石川町駅を発着する記念の団体列車を運行いたしました。車内では、アコーディオンの生演奏が旅の情緒を盛り上げました。



=鉄道ファン向け施策= ～やまどり貨物線号の旅～

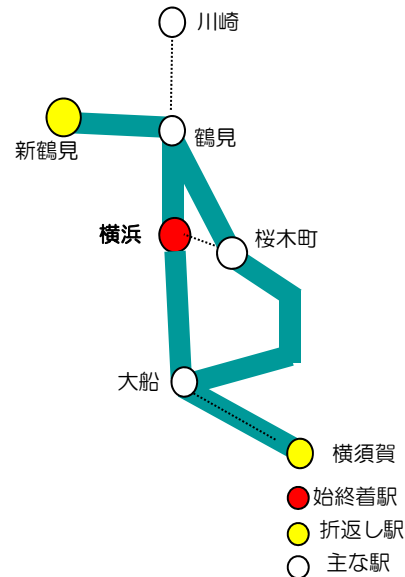
車内では、往年のブルートレインのヘッドマーク
展示や車掌用スタンパーの押印体験などのイ
ベントを開催。
お子さまをはじめ多くのお客さまにお楽しみいた
だきました。

団体名	やまどり貨物線号の旅
運転日	2013年9月21日
車種	485系やまどり
区間	横浜～横浜
貨物線名	高島線・東海道貨物線
運転経路	横浜⇒新鶴見⇒(尻手短絡線)⇒浜川崎 ⇒(高島線・桜木町)⇒大船⇒(東海道貨物線)⇒根府川⇒(東海道貨物線)⇒ 新鶴見⇒横浜
実績	92人



＝夜景・納涼を楽しむ大人向け施策＝ お座敷列車 飲ってみナイト！

お座敷列車で納涼列車を企画。車窓からは
花火の打ち上げも見る事ができるサプライズ
に、お勤め帰りのサラリーマン・OLに大変喜んで
いただきました。



団体名	飲ってみナイト！
運転日	2013年8月1日
車種	485系華
区間	横浜～横浜
貨物線名	高島線
運転経路	横浜⇒新鶴見⇒鶴見⇒(高島線・桜木町)⇒大船⇒横須賀⇒大船⇒横浜
実績	127人



駅での発車メロディ変更

①発車音の変遷

駅のホーム発車メロディは、電車の発車タイミングをご利用のお客さまにお知らせすることを目的に使用を開始しました。1970年代後半から電子音化したベル音を使用していましたが、多くのお客さまから「耳障り」などと不評であったため、1990年頃からピアノ・鈴などの楽器音を使用したメロディ音を使用するようになりました。（一部の駅では電子ベル音をまだ使用しています）。

②発車音の基準

発車音としての数値的な基準等はありませんが、目の不自由なお客さまにも明確に聞き取れるよう音程は高めにし、周囲の音と明確に区別できるような音源にしています。音量は、駅周辺の環境を考慮し、概ね70db～85db程度に設定をしています。

〈参考例〉一般的な騒音レベル(70db～85db)

- ・乗用車の走行音(70db)
- ・サイクロン式掃除機(強モード)(75db)
- ・落雷音(84db)

変更の条件

- ①駅をご利用のお客さまを中心とした「地域のみなさま」からのご要望であること。
- ②個人的なご要望ではなく、地域の方々のある程度の「総意」であること。
- ③発車メロディの音源の製作、音楽著作権の整理およびその費用負担が可能であること。

上記などを踏まえて、地域との連携強化や活性化に大きく寄与できると当社が判断した場合に検討、実施をまいります。

① 関内駅 (JR根岸線) 横浜DeNAベイスターズ球団応援歌

- ・使用開始日: ①2011年6月2日～10月22日 ※横浜開港記念日からシーズン終了まで
②2012年4月3日～10月9日 ※横浜DeNAベイスターズホーム開幕戦からシーズン終了まで
③2013年3月29日～現在 ※横浜DeNAベイスターズ開幕戦から通年

・使用楽曲: 「熱き星たちよ」

「横浜スタジアム最寄駅」として、地元球団である横浜DeNAベイスターズを地域一体となって応援。地域の活性化と観光振興に大きく貢献できました。



※写真は記念イベントのようす(2013年3月29日)

②武蔵中原駅(JR南武線) 川崎フロンターレサポーターソング

- ・使用開始日: 2013年1月24日～現在
- ・使用楽曲: 「FRONTALE2000」(上りホーム)
「FRONTALE20000」(下りホーム)

地元サッカーチーム「川崎フロンターレ」をより地域一体となって応援し、地域の活性化に大きく貢献しました。



※川崎フロンターレマスコット「ふろん太」と武蔵中原駅長(当時)

③武蔵小杉駅（JR南武線） 川崎フロンターレ応援歌

- ・使用開始日： 2014年2月26日～現在
- ・使用楽曲：「ナンバーワン野郎！」

武蔵中原駅の発車メロディ変更後、地域のみなさまと一体となった取り組みをさらに発展させるため、川崎フロンターレホームグラウンドである等々力陸上競技場へ向かうための玄関口である南武線武蔵小杉駅も発車メロディを変更し、より一層の地域活性化に貢献いたしました。



※写真は記念イベントのようす(2014年2月26日)

④鎌倉駅(JR横須賀線) 童謡「鎌倉」

- ・使用開始日: 2013年7月1日～現在
- ・使用楽曲: 童謡「鎌倉」(文部省唱歌)

鎌倉世界遺産登録(当時)に向けて、地域一体となった取り組みの一環として実施いたしました。発車メロディのアレンジは、鎌倉出身のフルート奏者 吉川 久子さんの演奏による生音源を使用しています。



※写真は記念イベントのようす(2013年7月1日)、吉川 久子さんによる発車メロディ演奏

⑤平塚駅（JR東海道線） 童謡「たなばたさま」

- ・使用開始日： 2013年7月5日～現在
- ・使用楽曲：童謡「たなばたさま」（文部省唱歌）

平塚青年会議所を中心に地域のみなさまから「湘南ひらつか七夕まつり」を年間を通して身近に感じてもらい、七夕の街「平塚」として多くの方々に知ってもらいたいという想いに応えるかたちで実施いたしました。



※写真は湘南ひらつか七夕まつり前夜祭での発車メロディお披露目式（2013年7月4日）

⑥ 淵野辺駅 (JR横浜線) 「銀河鉄道999」

- ・使用開始日： 2014年6月14日～現在
- ・使用楽曲：銀河鉄道999

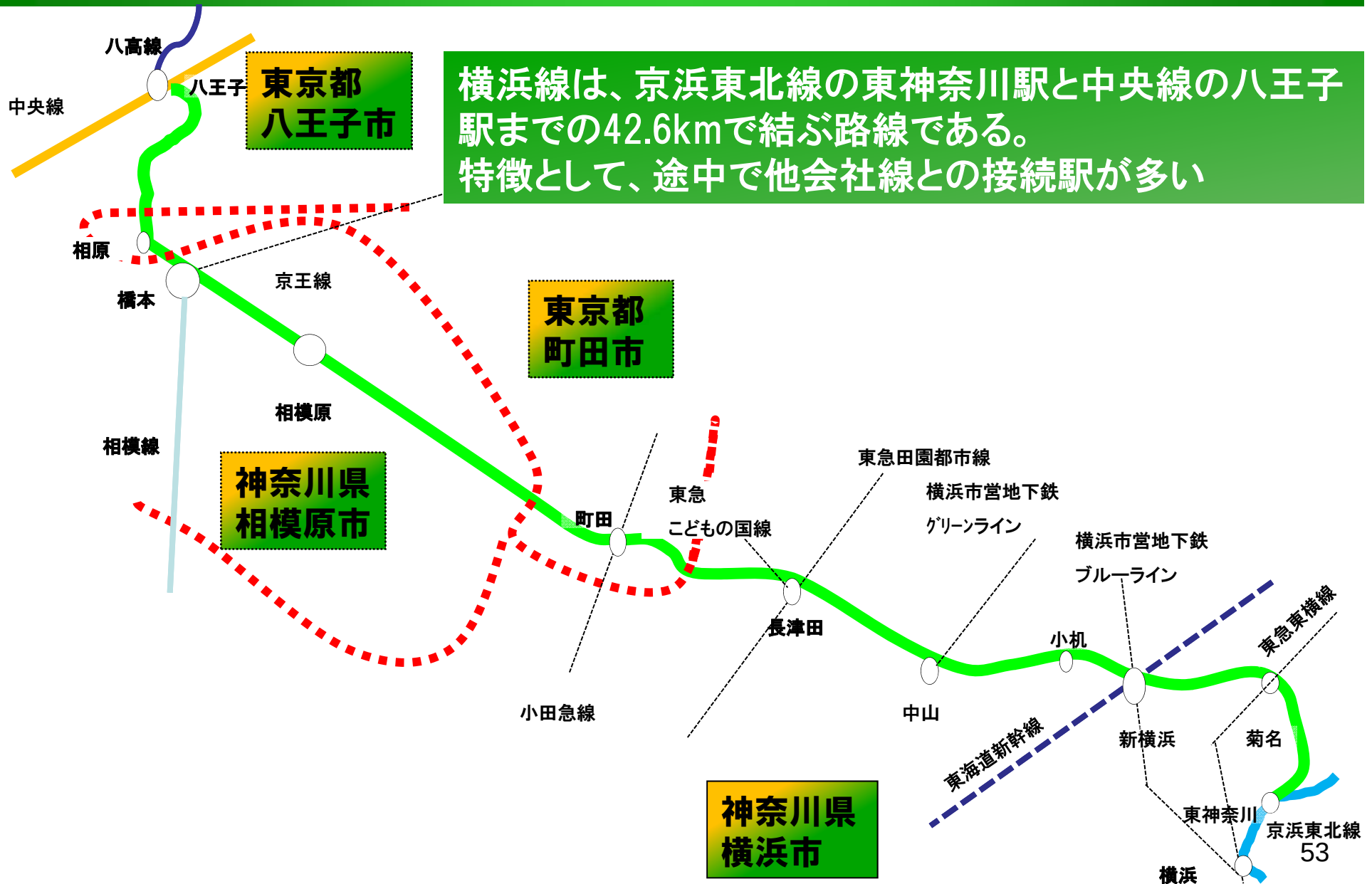
相模原市をはじめ、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) や地域のみなさまからJAXA相模原キャンパスの最寄駅であり、小惑星探査機「はやぶさ」と東北新幹線「はやぶさ号」が同名ということもあって、宇宙と鉄道の共演というかたちで実現いたしました。発車メロディの音源製作は、淵野辺駅が最寄りの桜美林大学の松岡教授によるものです。また、発車メロディをみなさまに馴染みのあるアニメの楽曲へ変更したことは、横浜線では初めてのことになります。



※写真は記念イベント内での桜美林大学の生徒さん達による発車メロディの生演奏(2014年6月13日)

線区に着目した活性化の取り組み

～横浜線活性化プロジェクト～



2012年4月、横浜線用にE233系車両新造 (8両編成28編成)・2014年度からの運転を発表



E233 系の特徴 (写真は中央線E233系)

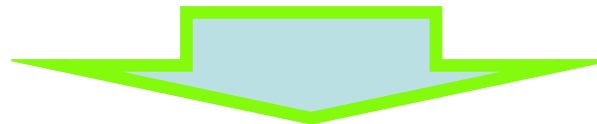
- ・乗車定員が従来の205系対比で1割増の154人と**混雑緩和に寄与**
- ・「**地球にやさしい車両**」: 車内の照明は全てLED、消費電力は205系対比で7割
- ・「**故障に強い車両**」: 主要機器の二重系化
- ・「**人にやさしい車両**」座席幅拡大、低い荷物棚・吊り手、つかみやすい握り棒
- ・「**情報案内を向上した車両**」: 液晶ディスプレイなど車内外の情報案内装置を充実 54

【2012年度 顧客満足度調査 結果】

首都圏路線別満足度比較で、

JR東日本の主要18路線のうち、**横浜線はワースト2位！**

(調査時期:2012年10月)



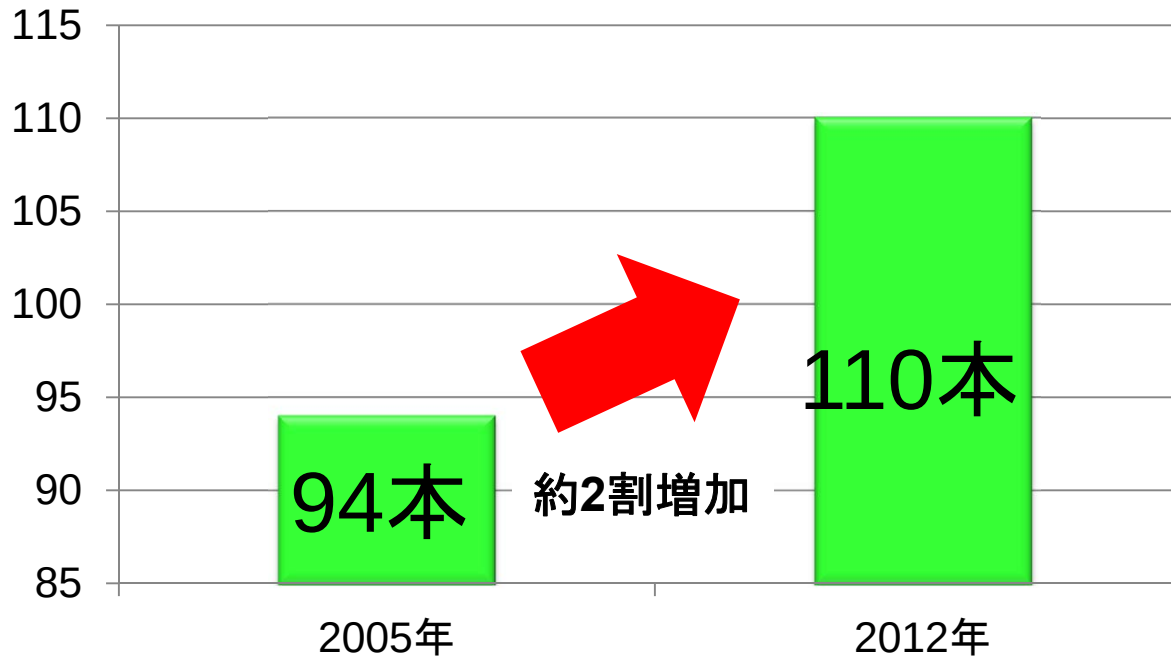
そこで、「地域との連携強化」「サービス品質改革」などを通じて「地域活性化」を実行するために、横浜支社(企画部門+現業機関)が一体となって取り組んでいく「横浜線活性化委員会」を設置

【2012年度 横浜線沿線モニター調査 結果】

- 桜木町方面へ直通運転の拡充
- 駅構内の乗り換え案内、乗降案内の設置
- LED照明で節電しながら暗い場所を明るく
- 沿線情報などを紹介する小冊子の発行
- 駅内に地元特産品の即売スペースの設置

@さらに、各駅で「ご意見承り箱」を設置し、お客さまの声を収集

京浜東北・根岸線への直通運転本数の変移



横浜線をより便利な線区とするために、これまで直通運転を増やしてきた。
 2005年と比べ、**約2割**の直通本数を増やしている。
 引続き、京浜東北線とのダイヤを調整しながら、直通運転を増やしていきたい。

ご意見承り箱の設置(2013.3.20～2013.9.30)

**横浜線は変わります！
ご意見をお聞かせください！**



横浜線向け E233 系(イメージ)

横浜線は、平成 20 年に開業 100 周年を迎えることができ、これまで地域の皆様にご
ていただきながら大きくなることができました。
これからも地域の皆様と一緒に歩んでいくために、横浜線についてお客さまのご意見ご
要望をお聞かせいただければと思います。
どんな些細なことでもかまいません、横浜線に関することなんでもお聞かせ下さい。

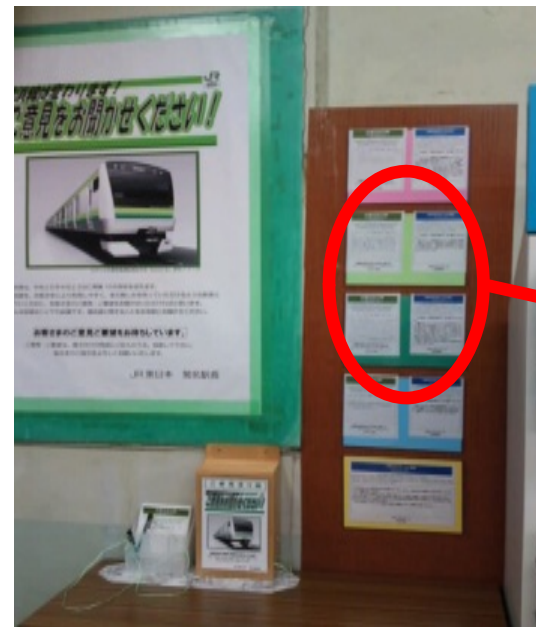
横浜線は、お客さまのご意見ご要望をお待ちしています。

ご意見ご要望は、備え付けの用紙にご記入のうえ、投函箱にお入れ下さい。
ご協力よろしくお願いいたします。

JR東日本 横浜線

「ご意見承り箱」期間限定で設置。
広くお客さまよりご意見を頂戴し、
改善につなげる取組を実施してきた。

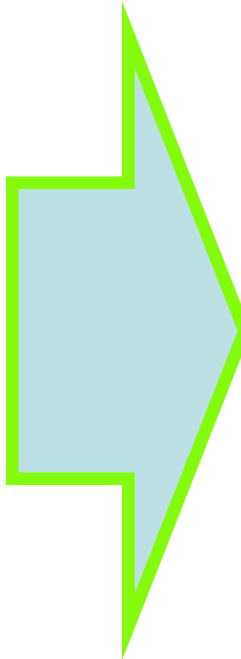
頂いたご意見(約3,100件)に対し、
駅長より直接回答し駅に掲示した。



案内サインを、線区で統一デザインのゲートサイン化実施

【改修前】町田駅の例

【改修後】



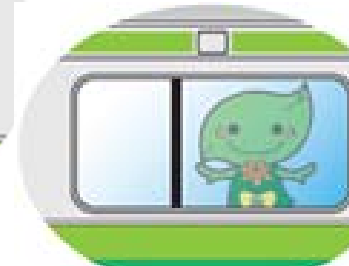
ゲートサインに合わせ
他会社線との乗換
利便性向上を目指し、
「乗換案内板」も整備



中山駅の例



横浜支社イメージキャラクター「ハマの電ちゃん」



中山駅・長津田駅
ミドリン
(横浜市緑区)



長津田駅
ジュル
(こどもの国)



橋本駅
ミウル
(相模原市緑区)



町田駅
ハスのん
(町田市)

◎他社線との乗換駅(中山駅・長津田駅・町田駅・橋本駅)の壁面に遊び心のある**楽しい装飾を実施**。

・E233系の車内には「ハマの電ちゃん」をはじめ**地域のキャラクター**がご乗車！

◎「ホーム照明LED化」モデル線区として
横浜線の全駅のホーム照明をLEDに

施工前

施工後

新横浜駅



十日市場駅

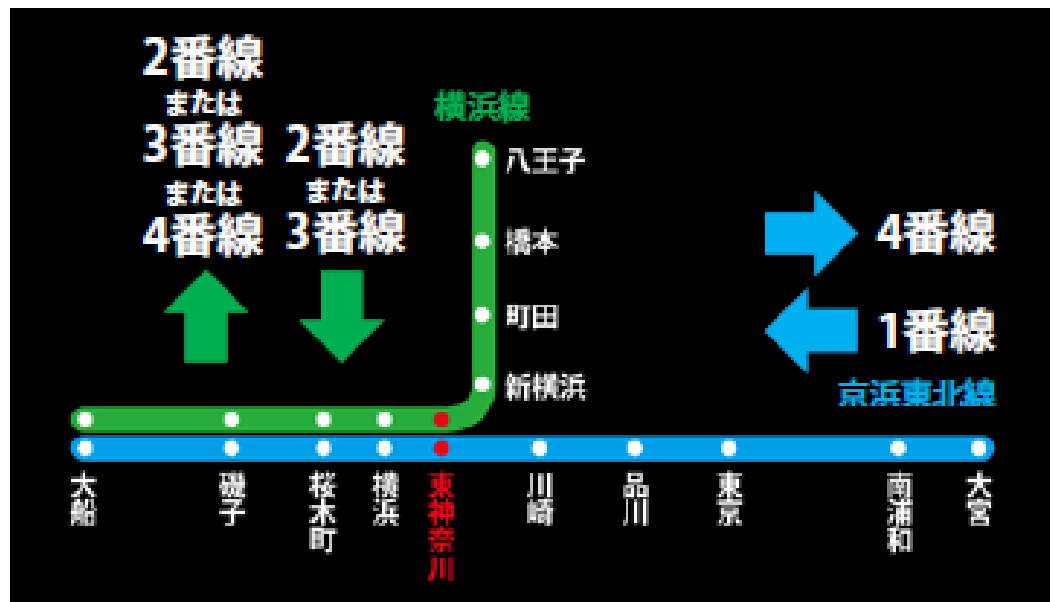
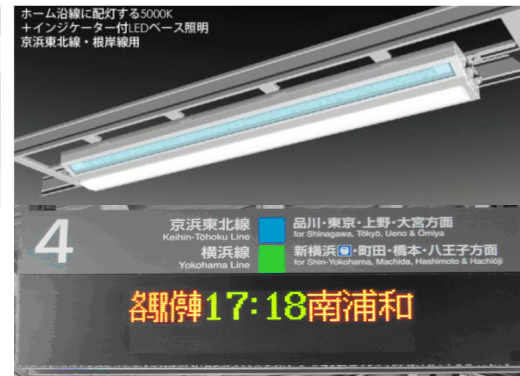
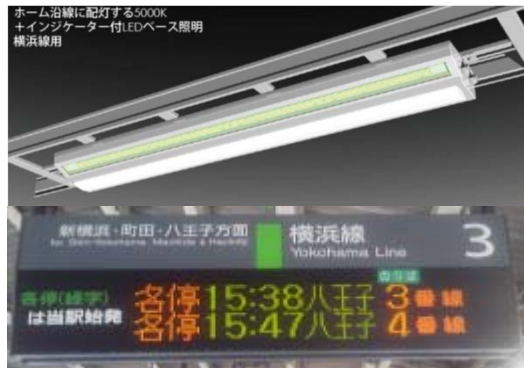


東神奈川駅



⇒駅全体も明るいイメージとなりお客さまからも好評

◎東神奈川駅「ホームカラーLED照明」で発車方面をご案内！



⇒メーカーと共同で、特許出願中。



- ◎新型の自動改札機を、他の線区に先駆けて全駅に導入中。
- ・従来機と比較し、**Suicaの残高確認の画面の視認性が向上**
 - ・ラインライトの導入により、通過可否の分かりやすさが向上

・町田駅に「ベビー休憩室」を
計画中！

駅周辺にデパート等の商業施設が
多く立地し、乳幼児をお連れのお客
さまのご利用が多い町田駅の中央
改札口付近に「**ベビー休憩室**」の設
置を計画しています(2014年度中に
完成予定)



おむつ替えベッド（イメージ）



ベビーチェア（イメージ）



シンク・手洗器（イメージ）



↑ハニーズバー町田店



↑鴨居駅マルシェ



↑横浜産トマトのBLTサンド



↑地元横浜産トマトとモッツアレラチーズのサンド



横浜産小松菜のかきあげそば



横浜産トマトのとまポテト



←横浜GREEN

・横浜市と「横浜線沿線の地産地消に関する協定」を締結。

⇒横浜市の協力を得て様々な取り組みを展開。

◎「鴨居駅マルシェ」駅コンコースで毎月開催。

◎横浜市産の野菜を使用したメニューの開発:「横浜産小松菜のかきあげそば」は大好評により3月よりレギュラーメニュー化が決定



◆BeansAnnex大口◆



◆中山駅北口ビル◆

- ・2013年10月25日、大口駅東口に「BeansAnnex大口」、
2014年3月10日、中山駅北口に「中山駅北口ビル」が開業。
(株)ジェイアール東日本都市開発が駐車場・店舗跡地を高度利用し、
生活密着型の物販・飲食店舗がオープンした。

横浜線車両への装飾（オリジナルロゴ・駅スタンプステッカー）



◎オリジナルロゴを車体前面と帯部分を装飾。

◎新型車両28編成に全て別々の駅のスタンプが貼付。



・横浜線の沿線の魅力を情報発信

- ◎PRポスターのスポット募集⇒220件の応募の中から3作品で作成。
- ◎小冊子「小さな旅」: 駅周辺情報の特集やお出かけ情報やグルメ情報などを掲載し、首都圏全域の駅で配布。



- 駅や地域のイベント情報のほか、当社の安全の取組みなど多岐にわたるジャンルで情報をタイムリーに発信。
- 2014年6月17日現在「いいね！」3,100件。



- ・「**町田こどもレールまつり**」: 町田駅構内で駅・保線関係社員が中心となって企画・実施。マルチプルタイタンパーの実演、鉄道の仕事紹介など。
- ・「**鉄道のお仕事を知ろう！ In横浜線**」: 大雨の影響でイベントが大幅縮小となったが、臨時列車には多くのお客さまがご乗車いただき、沿線の駅長をはじめとしたスタッフがおもてなしを実施。



- ・地域の各種イベントに積極的に参加
- 例:「アリオ橋本」での鉄道イベント: 駅長合唱隊・ペーパークラフト教室・E6系ダイヤブロック・当社の取組みパネル紹介、「ハマの電ちゃん」「ももずきん」登場。



- 新型車両の一般公開イベント**:沿線のゆるキャラと駅長が大集合し新型車両を紹介。車内を号車ごとに沿線自治体等のPRの場として提供。オリジナル弁当・グッズは即完売。来場数両駅で約4,000名。新型車両への期待感が伝わる



オカダ ナナ
岡田 奈々



カワエイ リナ
川栄 李奈



オオシマ リョウカ
大島 涼花



- 「**AKB48チーム神奈川**」
★ポスター・駅構内放送など宣伝展開、記念乗車券の発売

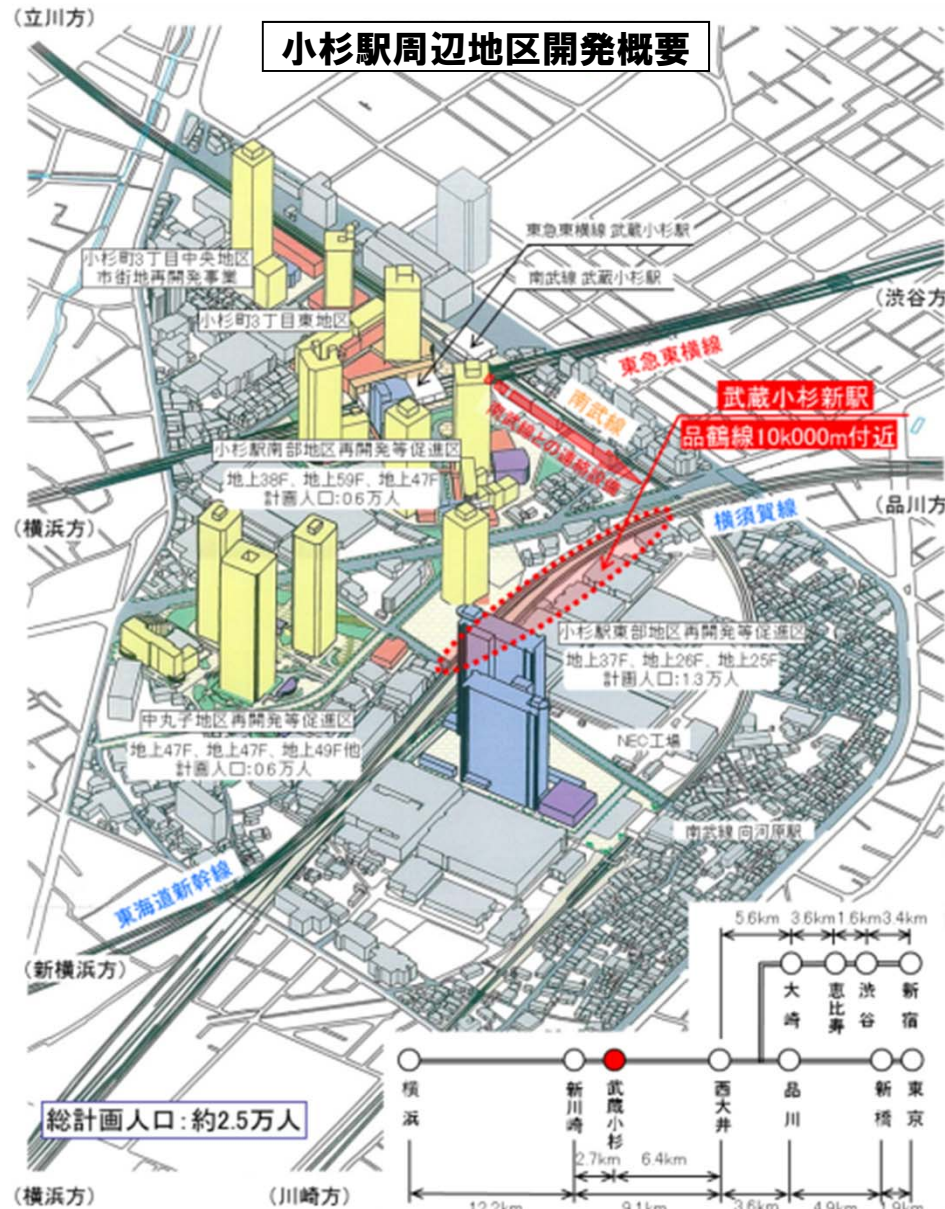


- ・2014年2月16日、**ついにE233系の営業運転が開始**。前々日からの記録的な大雪のため、出発セレモニーは中止となったが、多くのお客さまがかけつけ、新型車両1番列車にご乗車。
- ・当日は新型車両に手をふる沿線住民の姿も多く見られた。

2014年度は南武線活性化に チャレンジ！



武蔵小杉駅に横須賀線の新駅開業

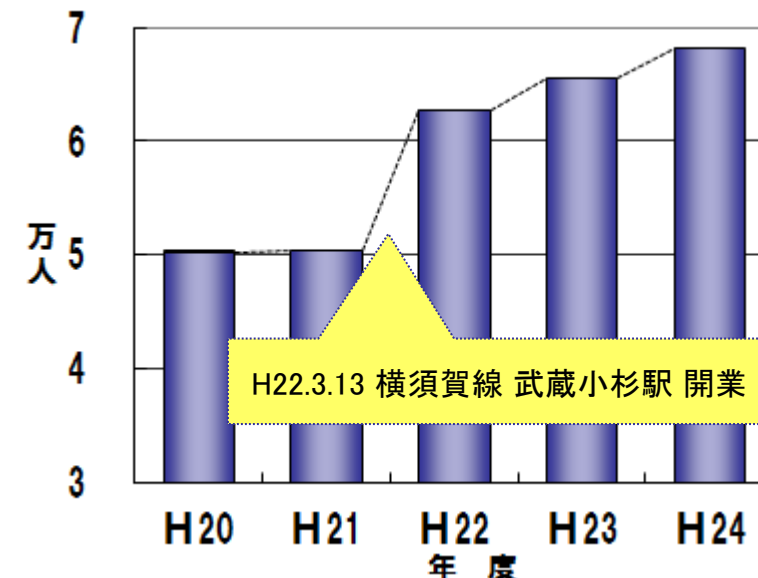


川崎市では、武蔵小杉地区を川崎に次ぐ第2の拠点と位置づけ、大規模な再開発事業を推進している。

川崎市より横須賀線西大井・新川崎間に新駅設置の要請があり、施行協定を締結して工事をする事となった。

2010年3月 新駅開業
(連絡通路は暫定通路)
2011年6月 連絡通路使用開始

武蔵小杉駅 乗車人員推移



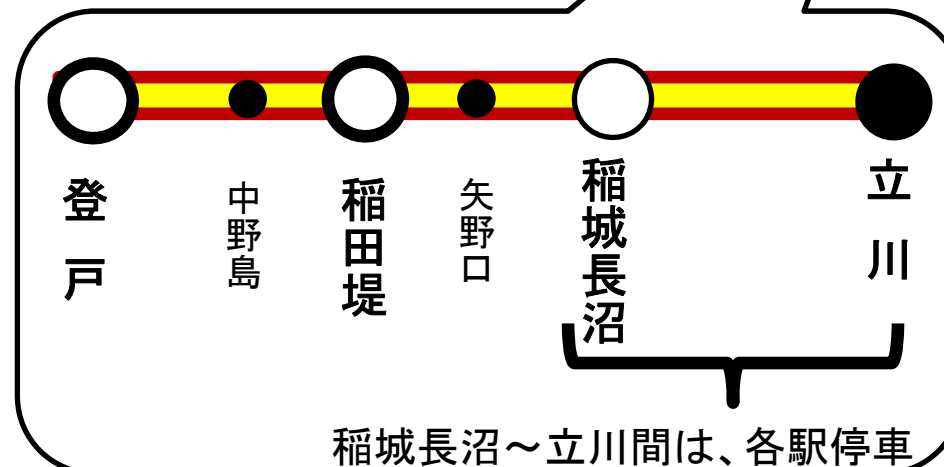
平成23年3月

川崎～登戸駅間で、快速運転開始 (東日本大震災により、3月～9月まで中止)



平成26年3月

快速区間の拡大と朝通帯の下り列車の増発



登戸～立川間は
各駅停車

稲城長沼～立川間は、各駅停車

- ・南武線用E233系車両の新造(6両×35編成)、2014年夏からの順次導入を発表



- ・車両の特徴は横浜線E233系と同様。混雑緩和は南武線にとって喫緊の課題。1割緩和が実現予定。
- ・新型車両導入に向け「南武線活性化委員会」発足。
★横浜支社と八王子支社双方が、十分に連携して施策を展開。
- ・沿線自治体(川崎市、稲城市、府中市、国立市、立川市)とも連携。

**JR東日本グループは、
今後とも鉄道インフラを有効活用し、
地域と連携して、
より良いサービスを提供してまいります。**



横浜支社マスコットキャラクター
「ハマの電ちゃん」